今月のおすすめ本

みんなの図書館

このほかにもたくさんの新着図書があります!!

『グッドジョブガールズ』

著／草野　たき
出版社／ポプラ社
出版年／2015.8月

あかりには、由香と桃子という二人の友人がいる。お互いに干渉せず気軽な関係だったが、少しずつ摩擦をおこすように。人気ＹＡ作家が描く12歳のほろ苦い友情物語

平 永 生 大

『君のむこうを過ぎてゆく雨』

著／寺井　順一
出版社／長崎新聞社
出版年／2015.6月

表題の中編作品は、世界文化遺産に登録された軍艦島の記憶を軸に織りなす人間模様。他に、五島キリシタン巡礼の旅に出た女性の再生を描いた短編「天の瑠璃」、平戸を舞台にした掌編「訪問者」の３編を収録。大村市在住作家の２冊目の小説です。

永

『かいけつゾロリのようかい大うんどうかい』

作・絵／原　ゆたか
出版社／ポプラ社
出版年／2015.7月

生徒が３人しかいない小学校と、運動会の会場が見つからないようかい学校が合同で「ようかい運動会」をすることに。そこへゾロリたちも参加をして･･･。大人気のかいけつゾロリシリーズです。

平 田

『星月夜への招待』

著／ KAGAYA
出版社／河出書房新社
出版年／2015.8月

アーティスト・ＫＡＧＡＹＡが世界中を旅して、全身全霊で撮影した美しい写真の数々。イースター島のモアイ像が見上げる星空、奇跡の地球帰還を果たした小惑星探査機はやぶさの大気圏突入など、天空と地球の神秘の光景に、心が安らぎます。

南

『ばけこちゃんのおつきみ』

脚本／苅田　澄子
絵／中谷　靖彦
出版社／童心社
出版年／2015.9月

今夜は十五夜。ばけこちゃんは、ほねこちゃんとお月見だんごをつくっていると、「ぼく、おーくん。迷子になっちゃったの」と、男の子が泣きながらやってきて･･･。さて、おーくんの正体は？

大

『レクリエ　2015-9・10月』

出版社／世界文化社
出版年／2015.9月

お年寄りの皆さんのためのレクリエーションや、脳トレになるゲームの特集の他、秋の壁画制作や料理などを掲載。高齢者のためのレクリエーション活動のアイデアが、わかりやすく紹介されたこの本は、高齢者介護をサポートする情報誌です。

生

※平：平戸図書館　永：永田記念図書館　南：南部公民館図書室　生：生月支所図書室　田：田平町中央公民館図書室　大：大島村公民館図書室

～図書館からのお知らせ～

平戸図書館　☎22 - 4017

■おはなし会／毎週日曜日　午前11時～
平戸図書館おはなしのへや

■赤ちゃんおはなし会／９日㈫　午前10時30分～
平戸図書館おはなしのへや

■ライブラリーコンサート／
今月は、「フラウエンコール・ユーコー」さんです。
26日㈯　午後６時30分～　平戸図書館

■上映会「みんなdeシネマ」／24日㈫　午後１時～
未来創造館ホール

南部公民館図書室　☎27 - 0047
生月支所図書室　☎53 - 2111
田平町中央公民館図書室　☎57 - 0207
大島村公民館図書室　☎55 - 2985

永田記念図書館　☎28 - 0128

◎休館日／１日㈰、８日㈰、15日㈫、22日㈪・㈫、27日㈰
29日㈫

●９月の主なもよおし●

■おはなし会／毎週土曜日　午後２時～
市ふれあいセンター児童室

■図書館ホームページ■

インターネットを使って図書館の情報を見ることができます。

◎パソコンから
URL http://www.hirado-lib.jp

◎携帯電話から
携帯電話のバーコードリーダーで右のＱＲコードを読み込んで簡単にアクセスできます。

平戸遺産

Vol.84

市有形文化財
鯨を刻んだ恵美須像

生月島壱部にある白山神社の境内には、鯨や鯨網などが下の部分に刻まれた恵美須像が祭られています。鯨や捕鯨の場面が刻まれた恵美須像は全国的にも珍しく、近い例として、明治時代に鯨定置網が行われていた佐賀県唐津市神集島に、鯨に乗った恵美須様の像があるくらいです。

地元に伝わる話では、この恵比須像はもともと御崎浦の鯨組の納屋場にあった神社に祭られていたそうです。御崎浦の納屋場は、益冨組が拠点を舘浦から移した享保14年（１７２９）から使われ始め、益冨家が明治７年（１８７３）に捕鯨業から撤退した後も、さまざまな捕鯨会社が運営する形で、明治30年代まで使われましたが、その後、建物は次第に壊れ、山の斜面にあった神社も森の中に埋もれていったようです。

御崎浦で捕鯨が行われなくなってしばらくしたころ、壱部浦のある人の夢枕に神様が現れ、「私は御崎浦に祭られている神だが、今は森に埋もれて参る人もいない。自分を見つけて欲しい」と告げたそうです。その人が森の中に分け入ったところ、神社の跡があり、恵美須像もそこにありました。その人は像を持ち帰り、しばらく自宅で祭っていましたが、その後、神社で祭ってもらうのが良いと考えて、白山神社に合祀したそうです。

この恵美須様にまつわる習俗のことが、大正11年（１９２２）に中山太郎が書いた「ゑびす神異考」という論文に紹介されていますが、雌鯨の解体の際に胎児鯨が出てくると納屋場の恵比須様の下に埋める習俗があったとされています。壱部浦にある益冨家の居宅には、恵美須様を祭神とする神社が屋敷神として祭られ益冨家が所有する掛軸の中にも親子の鯨を釣り上げる恵美須様の図があります。捕鯨関係者の中では恵美須様は、鯨を人間にもたらすとともにあの世に鯨の魂を戻す役割も担っていると認識されていたようです。

▲鯨恵美須像（白山神社）

▲もと鯨恵美須像があった岬神社（御崎浦）

文化財ＤＡＴＡ

■名　称　鯨恵美須像
■種　別　市有形文化財
■選択年月　平成13年11月
■所在地　生月島壱部、白山神社